

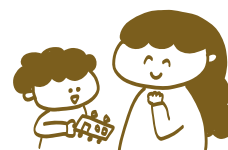
稲荷の観光分散化を目指す スタンプラリーの企画 魅力再発見ワークショップの案内



ふかく語ろう、深草のコト

2025年8月27日、31日

11:00～13:00



どの日程も内容は同じですので、都合の良い日程にお越しください

場所 龍谷大学成就館403 (27.31日)

募集人数

各20人 (先着順)

申込方法

下記のQRコードからお申込みください。

申込〆切

ワークショップ申し込み用

各日程の前日まで
27日開催：26日まで
31日開催：30日まで



持ち物

なし

参加されない方もこちらから
アンケートの
ご協力をお願いします。



主催

龍谷大学政策学部只友ゼミナール



こんな人に来て欲しい



- 地域の住民の方、お店の方、学生
- ・ 地域をより良くしたいと思っている方
 - ・ 観光の現状に関心のある方
 - ・ 学生との交流に興味のある方
 - ・ アイデア出しが好きな方
 - ・ 観光客の集中に困っている人



スタンプラリーについて

伏見稲荷大社のある稲荷地域は、インバウンドの影響もあり、過去最多の観光客が訪れ、今後もさらに増加すると予想されています。そして、観光客の集中は、深草地域の交通渋滞、ゴミ問題、騒音などの**オーバーツーリズム問題**をもたらしています。

そこで、只友ゼミの京都市の社会課題解決プロジェクトでは、稲荷地域におけるオーバーツーリズムの問題を解決することを目的に、**観光客を深草地域全体に分散させるスタンプラリー**を考えました。これは、観光客を対象に、稲荷地域以南の深草地域のおすすめのスポットを紹介し、稲荷から藤森へと、めぐってもらふ紙媒体でのスタンプラリーです。スタンプのスポットには、歴史的遺産だけでなく、地域の飲食店も設定しようと考えています。



ワークショップの内容について

スタンプラリー事業に取り組むにあたって、観光客の**深草地域への分散**については**非や、オーバーツーリズムによって感じている不安や困りごと**、また「**こんな形なら観光客を受け入れやすい**」といった声を聞くことで地域の実情をより深く理解したいと考えています。

そして、その際に地域の方が薦める**おすすめスポットや深草の魅力、モデルプラン**について話し合い、スタンプラリーの内容も深めていきます。その声をもとに、**観光と地域の暮らしがうまく共存**できるような形を目指し、まだまだ隠れている地元の魅力を発信するとともに、地域の方にとってもプラスになるようなイベントを目指します。

■内容【120分】

0: 挨拶【5分】

1:スタンプラリーの説明【5分】

2:ワークショップの説明【5分】

3:4グループ5人に分けて自己紹介→ グループワーク【50分】

4:共有【35分】

5:まとめ（意見、質問）解散【20分】



グループワークでは、先日砂川小学校の夏祭りで地域の方の声を聞いて作成した、まちづくりの木と同じものを作成し、深草のいいところ・オーバーツーリズムで困っていること・深草の今後についての要望などを聞き一つの木を作ります。そして、スタンプラリーについての意見やおすすめスポットも一緒に考えていきます。